

Organizational Learning in Professional Service Firms: Understanding the Effects of Individual Learning and Member Diversity

石, 雪梅

<https://hdl.handle.net/2324/7396156>

出版情報 : Kyushu University, 2025, 博士 (経済学), 課程博士
バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)



氏 名	石 雪梅			
論 文 名	Organizational Learning in Professional Service Firms: Understanding the Effects of Individual Learning and Member Diversity (専門サービス組織における組織学習：個人学習とメンバー多様性の効果の理解)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	大坪 稔
	副 査	九州大学	准教授	加納 拡和
	副 査	九州大学	准教授	岸野 早希
	外部委員	大阪公立大学	教授	中本 龍市

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

近年、組織学習は企業が環境変化に効果的に適応し、長期的な競争優位性を維持するために不可欠となっている。従来の組織学習研究は主に製造業に焦点を当てており、知識経済において重要な役割を果たす専門サービス業界は十分に探究されていなかった。この研究ギャップを踏まえ、本研究では専門サービス組織（PSFs）における組織学習を調査し、特に、専門家が個人経験を通じて知識を習得する方法とそれが個人の学習成果に与える影響、および、組織レベルでの構成員多様性が組織の学習成果に与える影響を明らかにしようとしている。

本論文は全 6 章で構成されている。第 1 章では、組織学習と専門サービス組織（PSFs）の発展過程を概説し、研究の必要性和目的を明確にしている。第 2 章では、専門サービス組織（PSFs）における組織学習に関する文献の系統的レビューを実施し、知識、人的資源管理、イノベーション、組織内学習、組織間学習という 5 つの主要研究テーマを特定している。第 3 章では、日本の特許業界の概要を提供し、実証分析の文脈を説明している。第 4 章では、個人レベルの経験的学習を分析し、キャリア全体の視点とタスク特定の経験の視点という 2 つの理論的観点を統合して、4 つの経験タイプ（キャリアを通じた幅広い経験、タスク特定の経験、経験の幅、経験の深さ）が個人の学習成果に与える影響を検証している。第 5 章では、組織レベルでの構成員多様性が組織の学習成果に与える影響を調査し、表層的多様性（ジェンダー多様性）と深層的多様性（技術多様性と経験多様性）を区別して検証している。第 6 章では、ここまでの研究成果を総括し、理論的・実践的含意、限界、今後の研究方向性を提示している。

本論文には、以下の 3 点において大きな学術的意義がある。第一に、既存研究で製造業を文脈として取り上げてきた組織学習理論を専門サービス組織という知識集約的な産業に拡張し、新たな理論的拡張を行ったこと、第二に、個人の経験学習と組織レベルの構成員多様性を組織学習の枠組みに組み込んで分析することによって、専門サービス組織（PSFs）における組織学習の理解を深化させたこと、第三に、アジア（日本）の専門サービス業界という十分に開拓されていない文脈での実証研究を通じて、当該分野の研究の発展に貢献したことである。

以上の調査結果から、本論文調査委員会は、石 雪梅 氏より提出された論文「Organizational Learning in Professional Service Firms: Understanding the Effects of Individual Learning and Member Diversity」を博士（経済学）の学位を授与するに値するものと認める。